

有子山城(高城, 有子城) (国史跡, 続百名城) (豊岡市出石町内町)

有子山城（ありこやまじょう）は、兵庫県豊岡市出石（但馬国）にある日本の城（山城）跡。此隅山城跡と合わせて「山名氏城跡」として国の史跡に指定されている。

歴史

但馬守護所

- 天正2年（1574年）、山名祐豊が築城した。六分一殿として知られる山名氏は元来此隅山城を居城としていたが、永禄12年（1569年）、織田信長派配下の羽柴秀吉（豊臣秀吉）の攻撃を受け落城したため、新たに有子山に城が築かれた。
- 落城した此隅山が「子盗み」を連想させることから、別の名前であったこの城を「有子」と名付けられたと言われる。山名氏分家の鳥取城と同じく、山頂付近は天守（詰の城）とされ、山麓に平時時住まいする居館および郭（但馬守護所）が設けられた。
- しかし、天正8年（1580年）、山名堯熙の時、再び羽柴秀吉の攻撃を受け、城は落城した。

織豊時代

- 以後、豊臣時代は前野長康、小出吉政らが城主となる。
- 関ヶ原の戦い後の慶長9年（1604年）、小出吉英が山麓の館および郭のみを出石城として建築し、山頂部分の有子山城を廃城にしたと幕府に届け出た。

2017年（平成29年）4月6日、出石城とともに続日本100名城（162番）に選定された。

歴代城主 山名祐豊・山名堯熙・前野長康・小出吉政

Wikipediaによる

